

平成27年10月七管内漁船海難 計10隻

(衝突2隻、浸水2隻、転覆1隻、推進器障害1隻、その他海難4隻)

☆10月の主な海難

【転覆海難の概要】

●漁船A丸は航行中、**荒天により後部甲板から海水が打ち込み**、機関室等に浸水、その後転覆したものの。

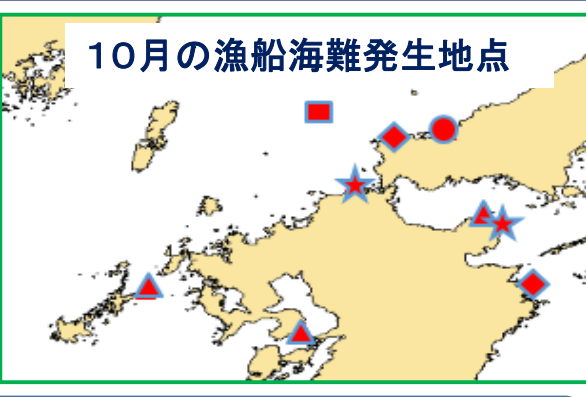
【その他海難の概要】

●漁船B丸船長は、操業中、何等かの理由により**巻き上げ機に自身の腕を巻き込まれ**、倒れた状態で発見されたもの。病院に搬送されたものの、死亡が確認された。



漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	2
浸水	◆	2
転覆	●	1
推進器障害	■	1
その他	▲	4
合計10隻		

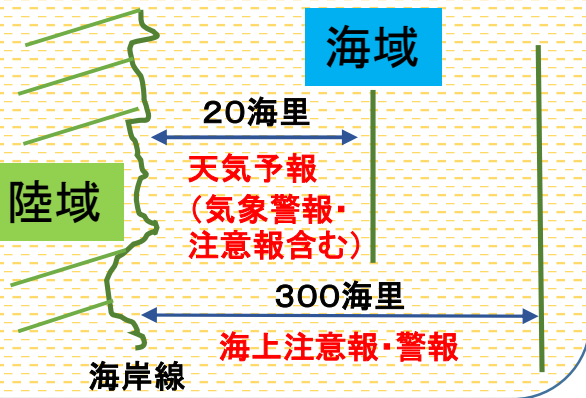
	県別内訳	
	10月	H27累計
山口県	2	17
福岡県	2	27
佐賀県	0	7
長崎県	3	56
大分県	3	14



注目 気象庁が発表する「天気予報」と「海上注意報・警報」について

全国の各気象官署が発表している**天気予報**(気象警報、注意報含む)は、**海岸線からおおむね20海里(約37km)**以内も対象になっています。ちなみに、これより沖を航行する船舶に対して、**各種海上注意報・警報**(海岸線から**約300海里**までの沖合い海域をカバー)が発出されています。沿岸部で漁業をされる方は、海上の注意報・警報だけでなく、天気予報(気象警報・注意報含む)の確認も行うようにしましょう！！

※天気予報の発表時、海上に影響が及ぶ際は「沿岸部」や「沿岸部の海域」といった表現が用いられています。



これから時化するシーズンに向けて

☆これから本格的な冬に入っていくにつれ、海上の時化も多くなってきます。今年に入り、2月には漁船2隻が転覆し船長2名が亡くなり、9月には竜巻が原因と思われる集団転覆海難が発生、数名の方が亡くられるという痛ましい海難事故が発生しております。

右側に掲げている注意事項を念頭に、**出港前には必ず気象・海象の確認**を行うとともに、自船の船型を考慮し、**無理な運航は絶対に行わない**で下さい！！



●漁具や漁獲量を把握し、**バランス良く積み付けて**いますか？



●**気象・海象を把握し、航行中の横波、追い波に注意**しましょう！

●**自船位置や磯波が高くなる海域を把握して危険海域への接近を回避**しましょう！